



西都市立
妻北小学校
学校通信

妻北っ子だより

令和5年度10月号

運動会をとおして、また一つ成長した子どもたち

～ 運動会 閉会式 児童代表 6年 梅木萌衣さんのあいさつ～

私達にとって大切な学校行事、運動会が終わろうとしています。「力を合わせろ W 優勝目指して 限界突破」のスローガンのもと、私達は力いっぱい練習に取り組んできました。

どの学年も、暑さに負けず、団技や徒走、応援の練習をがんばってきました。団長や、リーダーは、昼休みも毎日応援の練習をしていました。

私達6年生にとっては、小学校最後の運動会でした。みんなで運動会を作り上げたいという気持ちで「応援盛り上げ隊」「ボンボン作り係」「団技係」「白太鼓係」など自分に何ができるかを考え、全員が役割をもって取り組んできました。人から言われる前に自分から動くことを考え、自分の役割を精いっぱい果たすことができました。

私が、特に力を入れたのは、白太鼓踊りです。6年生だけが、身につけられる、ひもろぎを背負っておどりました。ひもろぎは、予想以上に重く、ちゃんとおどれるか心配になりました。でも、ひもろぎをつけると、最高学年になれたと実感しました。伝統を大切に受けついでいこうという気持ちで、今日は力いっぱい踊ることができました。



私が、運動会を通して学んだことは、一人一人が力を合わせ、一生けん命に取り組めば、新たな絆が生まれるということです。仲間とともに力の限り競ったり、仲間のために声の限り応援したりした今日の運動会は、かけがえない、最高の思い出になりました。

勝ち負け関係なく、私たちは、今日の思い出を胸に、これからの学校生活を大切に過ごしていきたいと思います。

最後に、保護者のみなさま、地域のみなさま、私たちの頑張る姿を応援してくださり、ありがとうございました。

心に残る最高の運動会ができたことに感謝します。

閉会式のときに、全校を代表してあいさつをした6年生の梅木萌衣さん。萌衣さんの一つの言葉に感動しました。子どもたちなりに、行事をとおして感じ、考え、行動しているのだなあ、と思いました。梅木さんをはじめ、どの学年の子どもたちも、また一つ成長した様子が見られたのではないのでしょうか。



保護者の皆様、地域の皆様、ご声援をいただき、ありがとうございました。また、片付けの際にも手際よくお手伝いいただき、スムーズに終わることができました。重ね重ねお礼を申し上げます。